

彩湖自然学習センターミニ図鑑

彩湖の冬といえば冬鳥！彩湖周辺は野鳥の宝庫。毎年たくさんの冬鳥がやってきます。ミニ図鑑と双眼鏡を持って野鳥を観察しよう～（留鳥も載せています）

彩湖の冬をさがそう

みつけたよ！BOX

みつけた野鳥に （もしくは日付）を書こう！

- …漂鳥 日本国内を季節によって移動する鳥
- …冬鳥 秋にシベリアなどから日本に渡ってきて越冬し、春に帰って行く鳥
- …留鳥 季節で移動せず、いつも見られる鳥



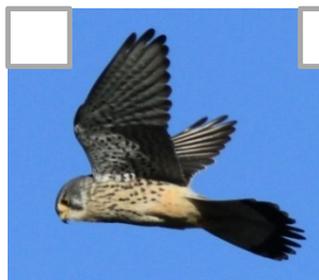
オス



メス

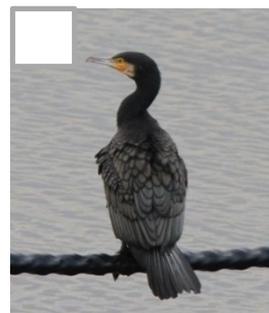
ベニマシコ○

「フィッ、フィッ、フォッ」と聞こえたらベニマシコかも。やぶの縁で草の実をついばんでいます。オスはきれいなピンク色。



○見つけたらラッキー！猛禽たち（左から もうきん チョウゲンボウ、ハヤブサ、トビ）

野鳥観察会でもたま～に姿を現してくれる猛禽たち。鉄塔や外灯の上で見かけることもあります。一番身近なのはチョウゲンボウ。ハト大でスマート、長い尾が特徴。



カワウ○

彩湖に浮かぶブイの上でいつも羽を乾かしています。黒くて大きい水鳥。



アオサギ○

青くはなく、灰色の鳥。サギ類の中では最大で全長は93 cm。



ユリカモメ○

彩湖の東屋付近で鯉のイサを横取りしようとしてきます。近くで見ると大きくて迫力があります。



オス



メス

ジョウビタキ○

オスはきれいなオレンジ色。見通しのよい枝先に止まって「ヒッ、ヒッ、カッ、カッ」と縄張り宣言をします。おじぎをするように頭を下げるしぐさがかわいい。スズメ大。



ツグミ○

胸のうろこ模様が特徴。道満パークのグラウンドに姿勢のよい鳥がいたらツグミかも。「クエツ、クエツ」と鳴きます。



シメ○

眼の先が黒いから？か、こわい顔に見える鳥。たく短くちばしで草や木の実を割って食べます。



カンムリカイツブリ○

黒い冠羽が冠のように見える、彩湖一押しの水鳥！潜水が得意。何秒潜っているかな？



カイツブリ○

一年中見られる鳥。潜水が得意で、すぐ潜ってしまいます。小さな水鳥。



オオバン○

集団で陸地に上がり、草を食べている姿をよく見かけます。カモのようなのですが、実はツルの仲間。彩湖では冬に見られます。



オス



メス

アオジ○

やぶの中やアシ原など、暗いところで見かけます。「チッ、チッ」と小さな声で鳴いています。



アオジュリン○

葦（アシ）の茎を割って、中にいるイガラムシを食べます。機場のやぶで、チウ、チウと鳴いています。

モズ○

秋になるとミニ彩湖南側のクヌギの枝先で「キョッ、キョッ」と高鳴き（縄張り宣言のさえずり）をします。とがったものにえものを刺しておく習性（モズのはやにえ）があり、センターのドウダンツツジで時々見られます。



カシラダカ○

脇腹の茶色い筋もようと、逆立った頭の毛が特徴。ジキ声はアオジと似ていて聞き分けが難しい。

コガモ○

一番小さなカモ。オスは緑と茶の模様が特徴。カモたちは流入堤付近でたくさん見られます。



キンクロハジロ○

オスは黒い顔に黄色い眼、寝ぐせのような冠羽が特徴。潜水が得意。



ホシハジロ○

オスは赤茶色の顔に赤い眼が特徴。潜水が得意で水生昆虫や水草を取って食べます。

マガモ○

オスは黄色いくちばしと光沢のある緑色の顔が特徴。

